

議論の整理（とりまとめ）の骨子

はじめに

PI協議会が設置された経緯について簡単に述べる。また、2年間にわたり議論が行われ、確認されたことや共通認識となったこと、課題が残されていることについて述べ、ここで協議会の議論をまとめておくことの意味について述べる。その上で、この報告書の構成についても簡単に触れる。

<目次 協議会参加者名簿>

1. 協議会の経過

協議会の活動（協議会、オープンハウス、地域毎の話合いの開催実績等）を事実の経過に基づきまとめる。（具体的な内容については参考資料に。）

2. 外環におけるPI

外環におけるPIの考え方として、協議会の議論の目的、その前提、構成メンバー等を記載する。また、外環におけるPIの課題について出されている意見をまとめる。

- (1) PI協議会設置の議論の前提と会の運営、課題について述べる。
- (2) オープンハウス等全体協議会とあわせて実施したPI活動について簡単に述べる。
- (3) 外環の構想段階以降の住民参加の必要性や方向性について述べる。

3. 協議会での主要な論点

協議会での議論の内容として、必要性についての議論とその他の議論に分けて整理する。

概ね総意とみられる見解に加え、対立点があるものについてはそれを明らかにし、協議会の議論の全体像が伝わるようにまとめる。

(1) 必要性の有無についての論点

環境への影響全般、大気、騒音・振動、地下水、自然・景観等、各項目に関する議論の内容

地域の分断や家屋の移転、交通の集中など、生活に与える影響に関する議論の内容

環境面での効果、地域交通への効果、渋滞の緩和、広域交通の利便性の向上、費用対効果などの効果に関する議論の内容

TDMなどの交通政策に関する議論の内容

(2) その他の議論

昭和41年の都市計画決定、国と都の「外環に関する方針」の発表や「環境アセスメント」の発表についての議論の内容

練馬問題や東名以南、ルート、ジャンクション及びインターチェンジについての議論の内容

地上部の利用の方向性や、換気所の環境対策等今後解決すべき課題についての議論の内容

4. まとめ

協議会での議論のまとめとして、全体の議論を整理し、必要性に関する総括的な意見や、P I協議会として確認または共通の認識となった事項(議論の前提、今後の進め方等) 今後の課題についてまとめる。

必要性については共通認識には至らなかったが、協議会で必要性について出された意見をまとめる。

住民と相談しての環境調査の実施、練馬の問題の反省を踏まえての関連道路整備の重要性、今後の外環のP Iの必要性等について確認されたこと。

環境調査の結果や、より詳細な交通予測に基づく分析が必要なこと、地上部街路や東名以南の計画等今後検討が必要であること、今後の住民参加の場を具体化する必要があること等、今後の課題があること。

< 参考資料 >

協議会規約・運営細則・開催経過・方針・協議員から提出された資料一覧

・ 必要性に関する議論の整理